



MALAYSIA

ステキな女子旅を叶えてくれるクアラルンプール



クアラルンプール(KL)には女子旅を満足させる楽しみが盛りだくさん。ホテルライフも、スパも、グルメも、そしてショッピングも。いずれもクオリティーは高く、しかもリーズナブル。帰りたくなくなる旅がKLにはある。KLから一歩足を伸ばして、ハイセンスなリゾートでロハスな女子旅を楽しむのもおすすめ。自然からパワーをもらい、オーガニックな料理でキレイになる。女子旅らしい女子旅がきっと叶えられるはずだ。

KLで賢く泊まって、遊んで、ショッピング

KLが女子旅に向いているのにはワケがある。まずホテルがリーズナブルなこと。5つ星ホテルでも1万円台で泊まれるメリットは女性同士の旅にとってはうれしい。しかも、選べるホテルの数もブランドも多い。



たとえば、KL一の繁華街ブキッピンタンエリアには、「リッツ・カールトン・クアラルンプール」「ウェスティン・クアラルンプール」「JWマリオット・クアラルンプール」などが集まる。また、ペトロナスタワーが立つKLCCエリアには「マンダリン・オリエンタル・クアラルンプール」に加えて、今年9月1日は「グランド・ハイアット・クアラルンプール(412室)」がオープンした。



こうした高級ホテルにはスパも併設されている。料金もやっぱりリーズナブル。お手頃な値段で泊まって、キレイになる。KLなら女性にとって至福の

ホテルライフを叶えてくれる。

女性旅に欠かせない楽しみのひとつはショッピング。KLには世界の有名ブランドがそろそろ一方、ローカルブランドの雑貨やファッションなども多彩にある。なかでも、人気なのがVINCCI(ヴィンシー)をはじめとする女性用の靴。1足50リンギット(約1300円)前後と日本では考えられない値段で購入することができ、しかも履き心地もいいと日本人旅行者のあいだでも話題になっている。



多様な文化の中を安心してジャランジャラン

KLはいろいろな顔を持つ多民族都市だ。それだけ街の表情も多種多様。歩いているだけでもワクワクしてくる。新しいKLを象徴するブキッピンタンやKLCC。英国統治時代の面影を残すオールドタウン。アジアらしい雑多感で賑わうチャイナタウン。街中にはモスク、中



国寺院、ヒンズー寺院が共存し、KLにいるだけで刺激的な異文化体験ができてしまうのも大きな魅力だろう。

女子旅デステイネーションを決めるうえで重要な要素になるのが治安のよさ。その点、KLは全く問題ない。女性だけでジャランジャラン(街歩き)やナイトライフを日本と同じように楽しむことができる。近頃、ブキッピンタンとKLCCの間に冷房付きの遊歩道が完成した。歩いて10分ほど。交通量の多い道路を横切る必要がないので、特に女性にとっては安心して利用できる好評だ。

最近、女性社員の多い大手化粧品会社がインセンティブ旅行先としてKLを選んだ。女子に支持されるKL。選ばれるのにはちゃんとした理由があるのだ。

KLから一歩足を伸ばして極上リゾートライフ

カサ・デル・リオ Casa del Rio

プラナカンアートもかわいいブティックホテル

KLから車で2時間ほどにある古都マラッカ。中国移民とマレー人の文化が融合したプラナカン文化、そして15世紀のマラッカ王国、16世紀初頭のポルトガルやオランダ支配時代の面影を色濃く残し、その歴史的にも文化的にも貴重な街並は世界文化遺産にも登録されている。



マラッカ川を挟んでオランダ広場の対岸に立つカサ・デル・リオは、ポルトガル植民地時代を彷彿とせる建築デザインのブティックホテル。世界遺産の見所や魅力的なショップやカフェ・レストランなどが集まるジョンカー・ストリートまでも歩いてすぐの絶好のロケーションにある。

客室数は、2ベッドスイート、プレミアムスイートを含む計66室。各部屋はマラッカらしくプラナカンアートをイメージしたインテリアで女性好み。また、プライベートバルコニーからはマラッカ川や世界遺産の街並を見渡すことができる。

このホテルの特徴のひとつがルーフトップのインフィニティプール。プールと周辺の風景との境界線がなく、まるで無限に広がるプールで泳いでいるような感覚は、街の中心にいることを忘れさせ、非日常の開放感を約束してくれる。ダイニングも充実。リバーサイドのバーやカフェで時間を忘れてのんびりと過ごすのもおすすめだ。

<http://www.casadelrio-melaka.com/>

アクセス KLから:TBSターミナル(南部方面行きターミナル)からマラッカセントラルバスターミナルまで約2時間。KLIA/LCCTから:車で約1時間半。バスで約2時間半。

ザ・シャトー The Chateau

究極のオーガニック・ウェルネス・リゾート

KLから車で約45分、緑豊かな熱帯雨林に囲まれたベルジャヤヒルズに立つザ・シャトー。フランス・アルザス地方にある「ホウト・コーニグスベルグ城」をモデルにした文字通りのシャトーで、究極の健康と至福のリラゼーションが体験できるオーガニック・ウェルネス・リゾートとして人気を集めている。



そのコンセプトの通り、料理にはすべて敷地内にあるオーガニックファームでとれた新鮮食材が使われる。プールも塩水を利用。アメニティーやリンネ類もすべてオーガニック素材というこだわりようだ。



リゾートの中心となるのがオーガニックスパの「ラ・サンテ」。ヨーロッパのスパ体系を用いたさまざまなトリートメントが用意されているほか、マッサージ、デトックス、フィットネス、ヨガなどのウェルネス・プログラムも多彩にそろっている。

客室数はスイートを含め計200室で、いずれもシャトーという名の通りエレガントなインテリア。日常を忘れられるゴージャスなステイが体験できるはずだ。

このほか、広い敷地内には、ベルジャヤヒルズ・ゴルフ&カントリークラブ、乗馬体験コース、アドベンチャーパーク、テニスコートなどが入るスポーツ総合施設もあり、滞在しながらさまざまなアクティビティーが楽しめるのもうれしい。

ザ・シャトーは海拔およそ900メートルの高原にあるため、いつでも涼しい風が迎えてくれる。ココロにもカラダにもうれしい高原リゾート。癒しを求める女子旅にはピッタリのホテルだ。

<http://www.thechateau.com/my/>

アクセス KLから車で45分、KLIAから車で90分

ザ・バンジャラン The Banjaran

女子力もアップするヒーリング・リゾート

石灰岩の岩山に囲まれた幻想的な風景とノスタルジックなコロニアル調の街並が印象的なイポー。その街から15分ほど離れた自然の中にあるザ・バンジャランは温泉リゾートとして有名どころだ。喧噪からは隔絶された隠れ家的リゾートに水上ピラとガーデンピラが合わせて25棟。それぞれ空間をぜいたくに使った室内にプライベートプールも備えている。



敷地内には、地下から毎日300万リットルの温泉が湧き出る天然プールがあるほか、リラクゼーションやデトックスの効果が期待できるスチーム洞窟、気があふれるクリスタル洞窟など自然の地形をそのまま活かしたユニークなヒーリングポイントも点在する。



スパは、中国、インド、マレーの伝統的施術を組み込んだトリートメントから現代的なトリートメントまで豊富。また、ウェルネスでは、各種プログラムのほかに、専属の自然療法医とともに、ひとりひとりの体質と健康に合わせたテーラーメイドプログラムを作ることできる。

ダイニングでは、2億8,000万年前に形成された洞窟をそのままワインセラーにした「Jeff's Cellar」が人気だ。洞窟の中は地下から湧き出た自然の水にあふれ、幻想的な照明のもと、特別な時間がゆっくりと流れる。施設内でアルコールが認められているのはここだけ。料理は「スパ・キューズ」というコンセプトのもと、新鮮なオーガニック食材を使った健康的で栄養価の高いメニューがメインとなる。

自然の力に身をまかせながら、女子力をさらにアップ。ザ・バンジャランのヒーリング効果をカラダに取り込むなら、2、3泊はしたい。

<http://www.thebanjaran.com/>

アクセス KLから車で約2時間半

協力/日本航空



マレーシア政府観光局

東京支局 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル5F TEL.03-3501-8691 FAX.03-3501-8692
大阪支局 〒550-0004 大阪市西区靫本町1-8-2 コットンニッセイビル10F TEL.06-6444-1220 FAX.06-6444-1380
ホームページアドレス www.tourismmalaysia.or.jp/